

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

物流の分野に於て、お客様第一主義をモットーに、高品質なサービスの提供をする

連結売上
1,760億円経常利益
185億円ROE
9.0～10.0%配当性向
35%以上

② 中長期の経営戦略

1. 売上の拡大

3PL事業、成長ターゲット、新規・既存荷主、グローバル物流事業の売上拡大

3. 企業基盤の変革

組織改革、設備投資促進、M&A実施、人的資本強化、DX戦略推進、営業体制強化、サステナビリティ推進

2. 事業競争力の強化

3PL業務の標準化・内製化、自社車両増加、国内外物流拠点拡充、機械化・省人化推進

4. DXによる変革

次期基幹システム構築、物流プラットフォーム構築、デジタイゼーション推進で情報活用型へ転換

③ 対処すべき課題

① 物流業界の構造変化対応

- ・ドライバー不足への対応
- ・多重下請け構造の規制対応
- ・倉庫建設費上昇への対応

② 経営モデルの転換

- ・過去の成功体験からの脱却
- ・次期基幹システム稼働による情報活用型への転換
- ・ビジネスモデル変革による企業価値向上

③ マクロ環境への対応

- ・原油価格・原材料価格高騰への対応
- ・国際情勢不安定化による景気変動への対応
- ・関税問題や中国関税対抗策の影響監視

面接で使えるポイント

- ・昭和6年創業から日本経済とともに成長する中で、次期基幹システム稼働により情報活用型への転換を目指す構造改革
- ・テクノロジーと現場力を両立させ、3PL事業とグローバル物流で2027年度売上1,760億円達成を目指す成長戦略
- ・ドライバー不足など業界課題に対し、M&A100億円と設備投資400億円で自社保有率拡大と拠点強化を推進

証券コード 9068

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,486億円営業利益率
10.4%財務健康度
61点 /100点

将来性 曇り / 就活偏差値 59.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
702万円

陸運業内 25位/57社

平均年齢
40.5歳

陸運業内 47位/57社

平均勤続
16.2年

陸運業内 27位/57社

女性管理職
4.9%

陸運業内 27位/46社

男性育休
75.0%

陸運業内 30位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

